

事業者排出量削減報告書

住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都府 京丹後市 掛津630						
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	山川産業株式会社 掛津事業所						
事業者の主たる業種	鉱業						
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者 (大規模エネルギー使用事業者 (原油に換算して1,500キロリットル以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者 (大規模運送事業者 (トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上)) <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者 (その他の温室効果ガスの大規模排出事業者 (二酸化炭素に換算して3,000トン以上))						
計画期間	平成20年 4月 ~ 23年 3月						
基本方針	省エネ法改正に伴う全社レベルの生産輸送エネルギーの削減推進(品種客先により生産工場を変更)、廃棄物の削減、リユーズ、リサイクルの推進						
推進体制	環境マネジメントシステム名称 適用範囲 取得年月日						
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容				
	22	水洗工程	新鉱区砂の粒度調整におけるライン簡略化による省エネ				
	22	リサイクル工程	廃熱回収装置の改修による回収熱の効率維持(余熱温度の上昇による前処理を含めた投入燃料の減少)				
	~22	乾燥工場	含水率低下で初年度計画挫折していた原砂水切りの方法についてヤード新規構築時に屋根付きにする検討				
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度 (実績) (19)年度 (二酸化炭素換算)	目標年度 (計画) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (計画)	報告年度 (実績) (22)年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (実績)	
	A 事業所等排出区分	5,968.0 t	4,728.0 t	-20.8 %	4,354.7 t	-27.0 %	
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%	
	C その他排出区分	t	t	%	t	%	
	排出合計	*1 5,968.0 t	*2 4,728.0 t	-20.8 %	*4 4,354.7 t	-27.0 %	
	実績に対する自己評価	原砂乾燥における重油消費量は再生可能燃料の調達割合で極端に変わり(当事業所の温室効果ガス排出の主体)、含水率等の対処による効果が出ていたのは判断が難しい。ガスクーラの改修により余熱温度が改修前に比べ年間に渡って平均10度上昇したことでリサイクル工程の燃料原単位改善にも寄与した。(前年比6%改善のうち約4割は熱回収の改修が寄与)					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度 (実績)	目標年度 (計画)	増減率 (計画)	報告年度 (実績)	増減率 (実績)
	工場	二酸化炭素換算 出荷トン数	0.03813	0.03017	-20.8 %	0.03033	-20.4 %
		二酸化炭素換算			%		%
		二酸化炭素換算			%		%
	実績に対する自己評価	重油代替の再生油調達により比較的良好な結果となった。また出荷製品について、NE砂のように燃料における再生油比率の高い製品出荷割合が安定的に推移、削減計画を僅かに下回ったもののほぼ達成できた理由である。原砂含水率の低下の取り組みについては、設備の新設等について23年度以降にもちこされている。水洗他湿式工程においては設備の簡略化等で原単位は若干改善した。					
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度 (計画)			報告年度 (実績)		
		取組量等	(二酸化炭素換算)		取組量等	(二酸化炭素換算)	
	森林の保全及び整備	(整備面積) ha	(吸収量) t		(整備面積) ha	(吸収量) t	
	府内産の木材の利用	(利用量) m ³	(削減量) t		(利用量) m ³	(削減量) t	
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(発電量) kwh	(削減量) t		(発電量) kwh	(削減量) t	
		(熱供給量) GJ	(削減量) t		(熱供給量) GJ	(削減量) t	
	グリーン電力の購入	(購入量) kwh	(削減量) t		(購入量) kwh	(削減量) t	
	家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	(購入量) t	(削減量) t		(購入量) t	(削減量) t	
	削減量等合計		*3 t		*5 t		
	差引排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度 (実績)	目標年度 (計画)	増減率 (計画)	報告年度 (実績)	増減率 (実績)	
		1 5,968.0 t	()2-(*)3 4,728.0 t	-20.8 %	(*)4-(*)5 4,354.7 t	-27.0 %	
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	琴引浜周辺地域の環境美化活動に対する協賛、開発箇所周辺地域の緑化推進						
特記事項							

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。
 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離等)を記入してください。
 5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度(計画)」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度(実績)」欄には実績の累計を記入してください。
 6 「特記事項」には、平成22年度(1990年度)を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達採用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。